

廃校等施設の活用状況調査票

(平成23年4月1日)

施設の名称	酪農学園大学	市町村名	洞爺湖町
-------	--------	------	------

概要

- ・用途：地域総合協定推進センター
- ・活用開始年月日：平成22年9月29日
- ・廃校年月日：平成18年3月31日
- ・旧学校名：成香小学校

建物

- ・構造：鉄筋コンクリート2階建
- ・建築面積：1,397.03㎡
- ・延床面積：1,397.03㎡



運営主体

- ・名称：酪農学園大学
- ・形態：学校法人

運営状況

- ・主な利用者：酪農学園大学学生・大学院生・教職員
- ・利用者数：500人程度

事業内容・活動状況等

- ・酪農学園大学では、環境システム学部を中心とし、獣医学部・酪農学部と連動して、以下の予定で教育研究活動を進める。

平成22年度		概要
4月	入学生オリエンテーション (生命環境学科)	新入生に生命環境学科の取り組みや文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」の趣旨説明と、今後の洞爺湖町との連携強化に理解を深める。
5月～ 11月	生物多様性保全調査	上級生(3・4年生)及び大学院生が研究の一環として様々な調査を実施する。調査において、解析(例:ウチダザリガニの防除個体の測定・アライグマの分布情報の集約)を実施する。
5月～ 11月	水環境調査	上級生(3・4年生)及び大学院生が研究の一環として様々な調査を実施する。調査において、解析(例:水質の科学的分析)を実施する。
7月	環境調査法実習	生命環境学科3年生の実習において、集約した水質や生物情報を解析、分析する。
8月	地域総合学習	洞爺湖町の小・中学校と連携した地域学習会の開催

- ・平成22年度夏期には、国際協力事業団(JICA)の研修事業受入れに対して、JICA研修生を受け入れ、本学教員と共にウチダザリガニの計測を実施する。
- ・平成24年～26年教育研究活動(案)
 - ①生物多様性保全調査…外来生物(ウチダザリガニ・アライグマ)防除における情報集約や、希少種(ニホンザリガニ)の保護活動、エゾシカ(洞爺湖中島)の生息調査
 - ②水環境調査…洞爺湖水環境及び、噴火湾における海洋中温暖化物質の挙動、動向

場所・連絡先

- ・住所：北海道虻田郡洞爺湖町成香289番地
- ・アクセス：JR洞爺駅より車で約30分
- ・電子メール：koho@rakuno.ac.jp
- ・ホームページ：http://www.rakuno.ac.jp/